

# あぶたんつうしん

平成23年2月16日発行

## 東北で最大の排水量を誇る!! 押分排水機場で内水排除訓練

平成23年1月14日（金）午前10時、大勢の関係者が見守る中、「運転開始！」の一声を皮切りに、**押分排水機場の管理運転（試運転）**が始まりました。岩沼市内を流れる五間堀川（ごけんぼりがわ）の氾濫に備え、洪水時の「いざ！」という時に迅速かつ正確に対応できるよう、**排水ポンプと水門の動作確認・点検**をするものです。

年に一度の大きな管理運転のため、各関係機関が調整を図り、1月11日から分派水門を閉門するなどの操作をして五間堀川に湛水（たんすい：水をためること）させていました。直接、阿武隈川に排水させるのではなく、五間堀川内で循環させて点検等を行うもので、湛水を開始してからは、局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）に備えるた



五間堀川

（分派水門から望む）



分派水門（宮城県管理）

め、夜間も水位状況を監視する体制をとっていました。

押分排水機場が完成して、今年でちょうど10

年目。これまで最長15時間に及ぶ排水ポンプの運転など洪水時には、その務めを果たしてきました。節目にあたる今回の管理運転には、岩沼市、宮城県、名取土地改良区、当事務所、岩沼出張所等、約30名の関係者が参集、その中には岩沼市長のお姿もありました。

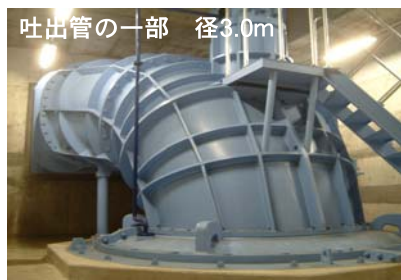
### ポンプ室内の設備



操作室内にて



井口岩沼市長



吐出管の一部 径3.0m



毎秒20m³のポンプが2台

各関係機関が協力し合い、準備を整えながら臨んだ管理運転。排水ポンプを稼働させるガスタービンエンジンのオイル交換も「異常なし」、全て無事に終わることができました。

昨年12月22日の集中豪雨（ゲリラ豪雨）が記憶に新しいところですが、その時も押分水門開門、排水ポンプ稼働という体制をとりました。6～10月の阿武隈川出水期（増水が多くなる時期）だけではなく、時期を問わない局地的な集中豪雨にも対応するため、これからも押分排水機場の点検・整備に努めてまいります。



内水排除訓練を確認中



押分水門開操作中

## 洪水から暮らしを守る。

を実施



押分水門

高さ30m×長さ58mからなる押分水門。阿武隈川流域にある水門の中では、最大級の大きさを誇る。



押分排水機場

排水量毎秒20m³のポンプが2台配備され、25mプールをおよそ10秒で満タンにするほどの排水量がある。

岩沼市長からは、「これまで岩沼市は何度か災害に見舞われ、その度に大きな被害を受けてきました。本日このように各関係者が集まり、何か事が起こった後ではなく、前もって準備をし災害に備える、そんな体制をとっていただき、ありがとうございます。」とお礼の言葉があり、また、「排水機場操作員の方には、今後も、これまで培われた技術力を排水機場で存分に活かしていただきたい。」と励ましのお言葉もありました。



## 水門・排水機場ができるまで

洪水時の様子▶

柴田町、岩沼市、名取市を流れる**五間堀川**は、一級河川である**阿武隈川**の支川です。その流域は地域開発が進み、今後の更なる発展が期待されている、極めて重要な地域です。

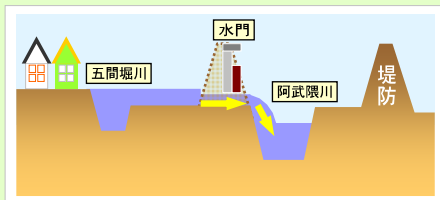
しかし、この五間堀川沿いに広がる平地部は地盤が低いために、阿武隈川の水位が上昇している間は流域内に降った雨を排水することが出来ず、内水氾濫が生じ、浸水被害が相乗的に拡大していました。なかでも昭和61年8月5日、そして平成6年9月22日の豪雨では、岩沼市街地を中心として家屋の浸水、空港や鉄道また道路をはじめとする交通ネットワークの遮断など、住民そして地域全体に大きな被害がもたらされました。

こうした災害を踏まえ、将来にわたる岩沼市発展のため**五間堀川の治水対策**が望まれ、完成したのが、**押分水門**（平成11年完成）そして**押分排水機場**（平成12年完成）です。



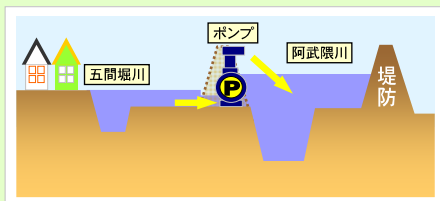
## 五間堀川が増水!! —— その時、水門・排水機場では

### ① 阿武隈川の水位が低い時



五間堀川の水位が高く、阿武隈川の水位が低い場合は、**押分水門を開き**、五間堀川が増水した水を**阿武隈川へと流します**。

### ② 阿武隈川の水位が高い時



五間堀川の水位が高く、阿武隈川の水位も高い場合は、五間堀川へ逆流しないよう**押分水門を閉じ**、40m<sup>3</sup>/Sの排水能力を持つ**排水ポンプ**で、五間堀川が増水した水を、**強制的に阿武隈川へと流します**。

水門と排水機場ができたことにより、平成6年9月22日豪雨に匹敵する降雨があった場合、浸水範囲は3分の1以下に減少、家屋等の浸水被害はおおよそ10分の1になるほど、大きな効果が見込めます。

## 浸水情報を提供しています

岩沼市内26箇所に設置された浸水センサーにより、市内の浸水状況が確認できます。また、河川水位、雨量に関する情報もインターネットにより提供しています。 <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/shinsui/> **検索**



## ■シリーズ・流域を見守る人々 vol.4

## 【押分排水機場編】

**押** 分水門・押分排水機場は、岩沼市からの委嘱を受けた操作員のお二人が管理をされています。日頃の施設管理から洪水時のポンプ操作等、今回の管理運転のほか毎月の点検も行っています。地域の安全のため、水門等の守り人として業務にあたられているお二人をご紹介します。

「雨が降ったらすぐ五間堀川の水位を見る」という佐藤操作員。機械設備や電気設備のことに非常に詳しい、とても頼りになる方です。管理をされるようになって5年目、これまでは泊り込みで一晩中監視ということも幾度かありました。一度洪水警戒態勢に入ると長時間に及びますが、まったく疲れを見せず、的確な状況の確認、判断をされる対応には頭が下がります。

昨年4月に委嘱を受け、管理業務にあたられている三浦操作員。危険物取り扱いの免許をお持ちで、安全な施設管理にご尽力いただいています。1年目ではありますが、排水機場内のことを熟知、管理運転でも場内放送を担当されていました。多くの人が携わり、時間をかけて準備した管理運転を経験されたことで、ポンプ操作等に自信をつけられたことと思います。



五間堀川流域の安全のため、多くの関係機関、たくさんの関係者が協力し合いながら携わっています。地域の皆様の暮らしを守るため、押分水門・押分排水機場は、今日も川を見つめています。